

Salt & Seawater Science Seminar 2017 の開催のご案内

平成 29 年度公開講演会 Salt & Seawater Science Seminar 2017 を 11 月 28 日（火）公益財団法人塩事業センター海水総合研究所で開催いたします。本年は、講演会と併せて見学会を開催します。

主催：公益財団法人塩事業センター 海水総合研究所
協賛：一般社団法人日本塩工業会，全国輸入塩協会，日本特殊製法塩協会，
公益財団法人ソルト・サイエンス研究財団，日本海水学会，たばこと塩の博物館
日時：2017年11月28日(火) 13:00～16:20

場所：公益財団法人塩事業センター 海水総合研究所
JR 東海道線・小田急線小田原駅から箱根登山バス（国府津駅行）または JR 東海道線国府津駅から箱根登山バス（小田原駅行）に乗車，バス停「酒匂小学校」で下車

スケジュール：

（見学会）

時間：13:00～14:00

見学場所：海水総合研究所 本館、試験棟

*12:55までに海水総合研究所 講習室にお集まりください。

（講演会） テーマ：塩づくりにおける工程管理と品質管理

時間：14:30～16:20

会場：海水総合研究所 講習室

① 塩づくりにおける工程管理のための計測技術の開発

公益財団法人塩事業センター 海水総合研究所 所長 吉川直人

日本において食用塩の大部分は海水をイオン交換膜などで濃縮、または輸入天日塩を海水、淡水で溶解することにより濃い塩水（かん水）を得た後、これを立釜、平釜などの晶析装置でさらに煮詰め、塩結晶を得る方法でつくられています。海水、かん水や晶析装置内の母液、苦汁は、塩分濃度が異なるだけでなく、組成も変化するため、工程に応じた管理が必要となります。本講演では、安定した品質の塩をつくるための工程管理のポイントや、これまでに研究所で開発した工程管理に有益な計測技術について紹介します。

② 塩づくりにおける品質管理と分析値の活用

公益財団法人塩事業センター 海水総合研究所 主任研究員 野田寧

塩の品質には、粒径、主成分、微量成分、微生物、安全性に係る成分とさまざまな項目があり、これらの塩の品質は、製造方法と密接に関係しています。このため、塩の品質管理において、適切な分析項目を選定し、適切な頻度で分析し、製造工程にフィードバックすることにより、効率的に安定した品質の製品を供給することができます。本講演では、塩の品質に係る項目の意味と、品質を管理する上で重要な分析値の活用方法について紹介します。

参加費：無料

申込方法：お名前，ご所属，ご連絡先（電話番号，E-mail）、見学会の参加の有無、講演会の参加の有無を海水総合研究所ホームページのイベント情報（<http://www.shiojigyo.com/institute/event/ssss/>）よりご登録ください。（10月中旬より受付予定、締切：2017年11月7日（火））

問合せ先：〒256-0816 神奈川県小田原市酒匂4-13-20

公益財団法人塩事業センター海水総合研究所

Tel: 0465-47-3161, Fax:0465-48-6242

E-mail: kouenkai@hq.shiojigyo.or.jp